

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成28年1月14日(2016.1.14)

【公開番号】特開2014-127962(P2014-127962A)  
 【公開日】平成26年7月7日(2014.7.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-036  
 【出願番号】特願2012-285222(P2012-285222)  
 【国際特許分類】

H 0 4 M 3/493 (2006.01)  
 G 0 1 C 21/00 (2006.01)  
 G 0 8 G 1/13 (2006.01)  
 H 0 4 M 3/42 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 3/493  
 G 0 1 C 21/00 Z  
 G 0 8 G 1/13  
 H 0 4 M 3/42 U

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月24日(2015.11.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

携帯可能な端末装置の現在位置を示す位置情報を、複数の前記端末装置から通信回線を介して取得する取得手段と、

各前記取得した位置情報に基づいて、地域又は施設の少なくともいずれか一方内における前記端末装置の数を、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方毎に算出する算出手段と、

前記算出された数に対して、当該算出された数に対応する前記地域又は施設の少なくともいずれか一方に対応して予め設定された係数を乗算することにより、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方毎の混雑度を算出し、当該算出された混雑度を示す混雑度情報を生成する生成手段と、

前記生成された混雑度情報を、前記通信回線を介して提供する提供手段と、  
 を備えることを特徴とする情報提供装置。

【請求項2】

請求項1に記載の情報提供装置において、前記生成手段は、前記算出された数に対して前記係数を乗算して得られた乗算結果を、前記算出された数に対応する前記地域又は施設の少なくともいずれか一方の広さで除した値を、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方の前記混雑度とすることを特徴とする情報提供装置。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載の情報提供装置において、前記地域又は施設の少なくともいずれか一方毎の前記係数を記憶した係数テーブルを記憶する記憶手段を更に備えることを特徴とする情報提供装置。

【請求項4】

請求項1から請求項3のいずれか一項に記載の情報提供装置において、前記係数は、前

記位置情報の取得が可能な前記端末装置の数と、前記位置情報の取得が不可能な端末装置の数と、に基づいて設定されていることを特徴とする情報提供装置。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載の情報提供装置において、前記係数は、前記位置情報の取得が不可能な端末装置がより多く存在していると推測される前記地域又は施設の少なくともいずれか一方或いは時間帯ほど、大きい値が設定されていることを特徴とする情報提供装置。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれか一項に記載の情報提供装置において、前記提供手段は、前記位置情報を取得することが不可能な端末装置に対して、前記通信回線を介して前記混雑度情報を提供することを特徴とする情報提供装置。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 6 のいずれか一項に記載の情報提供装置において、前記取得手段は、前記位置情報以外の前記端末装置に係る個人情報の取得を禁止することを特徴とする情報提供装置。

【請求項 8】

請求項 1 から請求項 7 のいずれか一項に記載の情報提供装置において、前記提供手段は、予め設定された地域又は施設についての前記混雑度情報を、当該混雑度情報の提供先において認識不可能とすることを特徴とする情報提供装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の情報提供装置において、前記提供手段は、前記予め設定された地域又は施設についての前記混雑度を前記提供先において隠蔽させるように前記混雑度情報を当該提供先に提供することを特徴とする情報提供装置。

【請求項 10】

請求項 8 に記載の情報提供装置において、前記提供手段は、前記予め設定された地域又は施設についての前記混雑度情報の提供を禁止することを特徴とする情報提供装置。

【請求項 11】

地域又は施設の少なくともいずれか一方内における携帯可能な端末装置の数に対して、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方に対応して予め設定された係数を乗算して得られた混雑度であって、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方毎の混雑度を示す混雑度情報を、通信回線を介して取得する取得手段と、前記取得された混雑度情報に基づいて、前記地域又は施設の少なくともいずれか一方毎に、前記混雑度に応じた異なる態様により当該混雑度を表示する表示手段と、を備えることを特徴とする携帯可能な端末装置。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の端末装置において、前記地域又は施設の少なくともいずれか一方に対応する前記混雑度は、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方に対応した前記数に対して当該地域又は施設の少なくともいずれか一方に対応した前記係数を乗算して得られた乗算結果を、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方の広さで除した値であることを特徴とする端末装置。

【請求項 13】

請求項 11 又は請求項 12 に記載の端末装置において、前記表示手段は、予め設定された地域又は施設についての前記混雑度を認識不可能とすることを特徴とする端末装置。

【請求項 14】

請求項 13 に記載の端末装置において、前記表示手段は、前記予め設定された地域又は施設についての前記混雑度を隠蔽するように表示することを特徴とする端末装置。

【請求項 15】

請求項 13 に記載の端末装置において、前記表示手段は、前記予め設定された地域又は施設についての前記混雑度の表示を禁止することを特徴とする端末装置。

【請求項 16】

複数の携帯可能な端末装置と通信回線を介して接続可能な情報提供装置において実行される情報提供方法において、各前記端末装置の現在位置を示す位置情報を、各前記端末装置から通信回線を介して取得する取得工程と、各前記取得した位置情報に基づいて、地域又は施設の少なくともいずれか一方内における前記端末装置の数を、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方毎に算出する算出工程と、前記算出された数に対して、当該算出された数に対応する前記地域又は施設の少なくともいずれか一方に対応して予め設定された係数を乗算することにより、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方毎の混雑度を算出し、当該算出された混雑度を示す混雑度情報を生成する生成工程と、前記生成された混雑度情報を、前記通信回線を介して提供する提供工程と、を含むことを特徴とする情報提供方法。

【請求項 17】

携帯可能で且つ表示手段を備える端末装置において実行される情報処理方法において、地域又は施設の少なくともいずれか一方内における前記端末装置の数に対して、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方に対応して予め設定された係数を乗算して得られた混雑度であって、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方毎の混雑度を示す混雑度情報を取得する取得工程と、前記取得された混雑度情報に基づいて、前記地域又は施設の少なくともいずれか一方毎に、前記混雑度に応じた異なる態様により当該混雑度を前記表示手段に表示する表示工程と、を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項 18】

コンピュータを、請求項 1 から請求項 10 のいずれか一項に記載の情報提供装置として機能させることを特徴とする情報提供用プログラム。

【請求項 19】

コンピュータを、請求項 11 から請求項 15 のいずれか一項に記載の端末装置として機能させることを特徴とする端末装置用プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記の課題を解決するために、請求項 11 に記載の発明は、地域又は施設の少なくともいずれか一方内における携帯可能な端末装置の数に対して、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方に対応して予め設定された係数を乗算して得られた混雑度であって、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方毎の混雑度を示す混雑度情報を、通信回線を介して取得する取得手段と、前記取得された混雑度情報に基づいて、前記地域又は施設の少なくともいずれか一方毎に、前記混雑度に応じた異なる態様により当該混雑度を表示する表示手段と、を備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記の課題を解決するために、請求項 16 に記載の発明は、複数の携帯可能な端末装置と通信回線を介して接続可能な情報提供装置において実行される情報提供方法において、各前記端末装置の現在位置を示す位置情報を、各前記端末装置から通信回線を介して取得する取得工程と、各前記取得した位置情報に基づいて、地域又は施設の少なくともいずれか一方内における前記端末装置の数を、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方毎に算出する算出工程と、前記算出された数に対して、当該算出された数に対応する前記地域又は施設の少なくともいずれか一方に対応して予め設定された係数を乗算することにより、

当該地域又は施設の少なくともいずれか一方毎の混雑度を算出し、当該算出された混雑度を示す混雑度情報を生成する生成工程と、前記生成された混雑度情報を、前記通信回線を介して提供する提供工程と、を含む。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記の課題を解決するために、請求項 1 7 に記載の発明は、携帯可能で且つ表示手段を備える端末装置において実行される情報処理方法において、地域又は施設の少なくともいずれか一方内における前記端末装置の数に対して、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方に対応して予め設定された係数を乗算して得られた混雑度であって、当該地域又は施設の少なくともいずれか一方毎の混雑度を示す混雑度情報を取得する取得工程と、前記取得された混雑度情報に基づいて、前記地域又は施設の少なくともいずれか一方毎に、前記混雑度に応じた異なる態様により当該混雑度を前記表示手段に表示する表示工程と、を含む。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記の課題を解決するために、請求項 1 8 に記載の発明は、コンピュータを、請求項 1 から請求項 10 のいずれか一項に記載の情報提供装置として機能させる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記の課題を解決するために、請求項 1 9 に記載の発明は、コンピュータを、請求項 11 から請求項 15 のいずれか一項に記載の端末装置として機能させる。